

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(平成29年度報告)

市町名: 庄原市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価																						
										被害金額			被害面積																									
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率																							
庄原市有害鳥獣対策協議会	庄原市	H27	イノシシ カラス	箱わな導入	9基	協議会	H28.3	100%	過去3年間のイノシシによる農作物被害、捕獲数については横ばいとなっている。	千円	29,626	13,831	214%	ha	60.00	51.97	115%																					
		センサーカメラ導入		7台	地元集落	H28.3	100%	787										74	1064%	1.62	0.6	270%																
侵入防止柵設置	20,600m		H28.1		979	0	-																0.75	0	-													
庄原市有害鳥獣対策協議会	庄原市	H29	ニホンザル サキ類・カワ ニホンジカ ヌートリア	箱わな導入																						9基	協議会	H30.3	100%	637	0	-	0.56	0	-			
				侵入防止柵設置																						9,790m	地元集落	H30.1	100%							2,122	0	-
庄原市	庄原市	H29	ツキノワグマ	箱わな導入																						9基	協議会	H30.3	100%									
				侵入防止柵設置					9,790m	地元集落	H30.1	100%	0	23	0%	0	0.03									0%												
処理加工施設整備	100㎡	庄原市	H30.1	100%				0	23	0%	0	0.03						0%																				

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント:  
 平成27年度以降被害面積は減少し、被害金額は横ばい傾向にあり、被害防止対策の効果が表れていると考えます。今後は重点的な対策及び被害防止資材の適正な更新等により、継続した被害防止対策が必要と考えます。  
 イノシシ・シカ・カワウ等の有害鳥獣について、生息範囲が広がっており、また、ヌートリア・アライグマ等は繁殖力が強く生息数・生息範囲が急激に拡大することも考えられます。有害鳥獣の生息・被害の実態把握を行い有害鳥獣捕獲対策も継続し長期的な対策を行うことが必要と考えます。  
 北部農林水産事務所林務第一課 自然保護係長 澁川和彦

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。